

甲 第 号

林修一郎 学位請求論文

審 查 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

| | | | |
|---------|----------|----|------|
| | 委員長 | 教授 | 齋藤能彦 |
| 論文審査担当者 | 委員 | 教授 | 田中康仁 |
| | 委員(指導教員) | 教授 | 今村知明 |

主論文

Variation in fracture risk by season and weather: A comprehensive analysis across age and fracture site using a National Database of Health Insurance Claims in Japan.

季節と天候による骨折リスクの差：日本のレセプト情報データベースを用いた、全ての年齢・部位に関する包括的な分析

Shuichiro Hayashi, Tatsuya Noda, Shinichiro Kubo, Tomoya Myojin,

Yuichi Nishioka, Tsuneyuki Higashino, Tomoaki Imamura.

Bone 120 巻, 512- 518 頁 2019 年 3 月 発行

論文審査の要旨

これまで骨折のリスクの季節による違いに関する研究は、特定の年齢や部位に関して行われたものが大半であるが、本研究では骨折のリスクの季節による違いを全ての年齢や部位について明らかにしたところに特徴がある。

本研究では特定健診・レセプト情報データベース（NDB）を用いて、関東地方1都6県、人口4200万人余の地域全体の健康保険による受診から、3年間の骨折の症例を収集した。その結果、（1）骨折のリスクは0-19歳の小児では春や秋に高い（2）65-79歳と80歳以上の高齢者では冬に高い、最も顕著な例外として、つま先の骨折は夏に多い（3）橈骨端骨折と大腿骨頸部骨折のリスクは、その日の気温や降雨との関連があった等のことが確認された。

骨折のリスクは子どもと高齢者とで、また、つま先と他の部位の骨折とでは異なる季節性があることが分かった。こうした知見は、骨折の疫学を明らかにし、予防策の検討や、医療資源の配分を行う上で有用である。

公聴会における質疑も適切であり学位を授与するに相応しい研究と考える。

参 考 論 文

1. Data regarding fracture incidence according to fracture site, month, and age group obtained from the large public health insurance claim database in Japan.

Shuichiro Hayashi, Tatsuya Noda, Shinichiro Kubo, Tomoya Myojin, Yuichi Nishioka, Tsuneyuki Higashino, Manabu Akahane, Tomoaki Imamura.

Data in Brief, Volume 23, April 2019, Pages 103780

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに公衆衛生学の進歩に寄与する
ところが大きいと認める。

令和元年6月11日

学位審査委員長

循環器病態制御医学

教授 齋藤能彦

学位審査委員

運動器再建医学

教授 田中康仁

学位審査委員(指導教員)

公衆衛生学

教授 今村知明